



# 度会町議会 だより

## 第3回定例会

平成27年9月8日～17日

地方創生と一億総活躍：  
故郷の持続へ、  
ぶれずに見極めたい。  
●広報委員  
登、溝口、若宮、西井、  
舟瀬、木本

### ◆平成27年度補正予算・条例改正などを可決

### ◆平成26年度決算を認定

### ◆副町長、教育長、人権擁護委員、固定資産評価審査委員の同意

\*今議会から人事議案は、猶予をもって採決

### 予算関係議案…可決

- ・平成27年度一般会計補正予算(第2号)：481万6千3百円を追加し、総額を37億7393万9千円とする。
- ・平成27年度国民健康保険特別会計補正予算(第1号)：479万4千円を追加し、総額を10億252万5千円とする。
- ・平成27年度介護保険特別会計補正予算(第1号)：287万3千2百円を追加し、総額を8億602万5千円とする。
- ・平成27年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)：5万5千円を減額し、総額を1億769万1千8百円とする。

### 決算関係議案…認定

平成26年度各会計決算及び財産に関する調書を審査した。

### 条例関係議案等…可決

条例の一部改正3件、教育関係請願4件(採択し議員発議により意見書を提出)

### 人事関係議案…同意

- ・副町長：藤田心作氏(当津)
- ・教育長：中西正典氏(長原)
- ・人権擁護委員：内田幸男氏(葛原)
- ・固定資産評価審査委員会委員：中村久生氏(棚橋)

右肩上がりで推移している。この要因を問う。：福井秀治  
衛星携帯電話の購入に100万円余りが支出された。その内容と使用実績を問う。：木本タエ子

### 産業振興課関係

### 一般会計補正予算

・農業振興費に計上の機械器具購入費315万円の内容を問う。：濱岡裕之

\*農林業再生プランの策定業務委託料583万2千円についてどのような構想を持っているのかももう少し詳しく説明してください。：委員長  
・伊勢志摩包括的地域の魅力情報発信事業負担金250万円は、構成市町一律の負担となるのか。：岡村広彦

### 一般会計決算

・農林業再生プランは5年計画とのことですが、早急に手を打たなければならぬ。計画の内容をどのように考えているのか。：牧幸作

### 一般会計決算

・45歳未満の新規就農者に対して年間150万円が支給される農業振興費補助金について、その面積要件等を尋ねる。関連して、高齢化などによりコメ作りが困難となり、既営農者が耕作依頼され集積せざるを得ない場合の支援策はないのか。：牧幸作

・農業機械購入助成事業として200万円が執行されたが、その補助要件200万円以上20%を緩和できないのか。：牧幸作  
・遊水プール鏡の管理に要した、その他委託料25万5千円の内容を問う。：若宮淳也

### 政策調整室関係

### 一般会計決算

・道の駅関連予算の執行に対する委員会の付帯意見について、議員懇談会で説明してきたとのことですが、どういう経費に充てたいとの説明であったと理解していた。予算をどれほど執行したい旨の協議はあったのか。：岡村広彦

### 町内現地視察 9月16日(雨天：11名参加)

### 風力発電現地を視察



搬入ルートにおける林道麻加江小萩線の改良並びに風車ヤードの造成状況等を確認した。

### 議会の記録(協議事項等)

- 8月21日―議員懇談会  
・議会だより一般質問に対する答弁の取り扱い
- 8月21日―議会広報委員会
- 8月28日―議会運営委員会
- ・9月定例会日程協議他
- 9月8日―議員懇談会
- 9月17日―議員懇談会
- ・度会町まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)
- ・伊勢志摩サミット他
- 9月29日―議員懇談会
- ・マイナンバー制度
- 10月22日―議員懇談会
- ・度会町まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 10月22日―議会広報委員会
- ・議会だより11月号の発行
- 10月26日、27日―県外研修  
・再生可能エネルギーの町をめざす今後の参考とするため関西電力宮津エネルギー研究所を視察・研修(温排水を利用した地域特産物―魚介類を育てる―研究)



9月16日 一般質問 (要約)

福井 秀治

●少子化対策について：町長あて

質問 出生数が増えなければ、人口減少は克服できない。日本は「結婚して出産する」ケースが圧倒的多数を占めることから、未婚・晩婚が少子化の大きな要因となっています。効果的で大胆な子育て支援策を打ち出し、出生の始まりとなる「結婚」への支援を強化していく必要があると思います。

10月から伊勢市では若い世代の出会いを応援し、結婚につなげようと商業施設に結婚相談所を設置する。運営は民間委託とし、市外の人も利用できるとあります。

結婚支援に向けて、度会町の対応と独自の案があるのかお聞かせください。



若宮 淳也

●防犯・監視カメラの設置について：町長あて

質問 子供たちの安全も含め、町の安全を確保していくために主要なところに防犯・監視カメラを設置することが有効であると考えます。また、防災の視点から台風や大雨時に増水、冠水するような場所を監視するためにカメラを設置することで、従来のアナログ的な見回りだけでなく、防災行政の効率化を図ってはいかがでしょうか！

回答 安全安心なくらしのまちづくりのために、

将来的には必要な事業だと理解しています。

現在、20台が公共施設で稼働中ですが、交付金が活用できれば、各字、地区での取り組みが可能になるような制度を、前向きに検討していきます。

●待機児童の解消と多様な保育ニーズへの対応について：町長あて

質問 ①保育士の確保についてー保育士を増やしていくことが待機児童の解消につながると考える。保育士の確保について町の対応を問う。

②子供の受け入れ体制の充実ー核家族化で働き方も変化する中で、多様化する保育ニーズに対応することが求められている。時代の変化に合わせる形で柔軟な受け入れ態勢の構築が必要と考えるが、町はどのように考えていくのか！

回答 現在、待機児童数はゼロですが、年間を通して見ると様々な状況変化が生じますので、保護者のニーズを十分把握し、柔軟な受け入れ態勢を構築するために努力いたします。

登喜三雄

●三瀬谷ダムは撤去するなど宮川水系の治水、利水、親水管理に長期的な視野と科学的な検証を求め。

質問 平成3年に清流日本一の水質として評価され、以来おおむねその座を保ってきた宮川が、これが日本一の清流かと疑わしくなっている。以下の課題と提言について、度会町政の姿勢を尋ねる。：町長あて

【課題】



・盆前のアユに本来の味がしない。：BOD(生物学的酸素要求量)基準値に目をとられ、ダム湖の堆積土砂、砂利の減少、河床の低下、水量不足による浄化能力の低下を忘れている。

・栗生の頭首工の義務放流量を毎年3トン/秒にするにはどうしたらよいか！(今期の下流放流状況も尋ねる。)

・宮川流域ルネッサンス事業から設立時の、まず、流量の回復の理念が忘れられようとしている。

【提言】

・宮川ダム：洪水調整と栗生の頭首工への灌漑用水機能を主とした管理に改める。

・三瀬谷ダム：このダムは、洪水調整機能がなく、工業用水の利水計画も廃止された。もはや常時500キロワットの発電利用よりも宮川本来の親水機能を取り戻すため、撤去を判断すべきだ。(ゲートを開放しながら検証すべきだ。)

昭和32年以前、ダムのなかった時代、子供たちは川遊びをしながら時には水を口に含むほどの清流で、のりのついた玉石にアユが群れ、岩場の穴からはウナギが顔を出さずましく日本一の宮川であった。翻って、河床が下がり護岸の手当てに多額の予算を投入しなければならぬ。河床の低下、本流水位の低下は一之瀬川、注連指川など度会町の誇る支流の地下水位も低下させ、河口付近の護岸の損壊を誘引する。

天然アユが遡上する宮川を取り戻す時が来ている。これこそが地方創生であり、故郷に誇りをもって人が住み続けることにつながる。宮川水系の管理に固定観念を脱ぎ捨て、長期的な視野と科学的な検証を求め。

回答 様々な課題を解決できるよう、1市6町の広域連携によって、要望を継続し、三瀬谷ダムに堆積している土砂の浚渫も、再三要望していきます。ダム撤去の思い切った意見は、今後の参考にします。

溝口 周生

●住宅リフォーム助成制度の導入について：町長あて

質問 「仕事がほしい」という業者の方々の声にこたえ、全国の自治体で住宅リフォームの助成制度が広まっています。県内でも、6市町が実施しています。

この制度は仕事がないと悲痛な声を上げている中小業者の方々にとり貴重な「仕事おこし」として、地域の不況対策として抜群の効果を上げてきています。

一つのリフォームで、左官業・塗装業・水道配管業・建具業など多くの業者の方々が関わります。そ

こで、自治体内に主たる事業所を有する建設事業者等でリフォーム等の仕事を行う場合に、工事費の一部を予算の範囲内で補助する制度として、この制度が広がってきました。これが大きな経済波及効果を生み出しています。統計によると補助金額の10倍、20倍程度の経済効果があると報告されています。当町でも実施されるお考えはありませんか。

回答 一定の効果は否定しませんが「大きな経済波及効果がある」とまでは断言しかねます。しかし、地域活性化の可能性も十分秘めておりますので、今後検討したいと考えます。

●風力発電状況について：町長あて

質問 また台風がこの地方に上陸しそうです。今回も豪雨への警戒が呼びかけられています。

現在進行中の風力発電工事の現場で、長引く雨によって、周辺環境にどのような影響が表れているのか、状況把握はされていますか。住民にとっては、現場を見ることができないので大変不安です。把握された情報を定期的に公開していただくようお願いいたします。

工事による自然破壊、水質汚濁、土砂流出など町としても積極的に関与し、万全の対策をとるよう求めます。

回答 先日の豪雨の際も、少し懸念をしておりますが、翌朝事業者から、大きな変化なしとの報告を受けました。今後は、町としても現地の確認等、万全の態勢で環境の保全にあたり、現地の情報も積極的に公開してまいります。



参加式典等



9月26日 度会小学校運動会  
いざ、組体操...集中。



10月18日 福祉ふれあい祭り  
ありがとう!今年も広がるふれあいの場。